

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。めざせ、均等待遇。なくその差別！ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# また現場の負担が増！？その施策とは！

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 3749  
17年4月25日(火)  
・Fax 095-828-1953

おはようございます。  
例年より開花が遅かった桜も葉桜となり、新年度がスタートから3週間がたちました。定例の人事異動は例年になく大幅なもので、特に役職者の異動が多かったのが特徴と言えます。  
郵便部では、前年度までの副部長2人体制から減員され1人体制となりました。管理者は多い方がよいとは言いませんが、24時間体制で郵便物・ゆうパックなどの仕分け・発送業務を行う重要部署の管理体制として問題はないのでしょうか？  
一方集配営業部では、昨年度末からの三部の連携強化と集約化に沿った形で、課長職の異動が行われ、外務課長職が2名減(9名から7名)となりました。  
これに伴い、あるいは配置削減計画が先かもしれませんが、夜勤課長の担務を、各部1名配置から集配三部全体で2名の配置にする計画であると聞きます。

これがどのようなことが皆さん想像してください。集配営業全体で2名しか夜勤課長担務がないということとは、週に2日は自分の所属する部には責任者がいないということになります。「お客様からの苦情などの連絡」や「来局されたお客様への対応」「配達中の事故対応」「再配物の出し漏対応」等、その部所属の担当者でないと対応できないことは多くあります。これら配置減となった場合に予想される、様々な課題に対する対応策なども説明されることなく、強行されることに対し、ユニオンは強く抗議します。



配置削減問題の影響はほかにもあります。  
第一・第二集配部は課長職が2名配置となり、夜勤課長の担務は、課長代理が担当する機会が増えました。それに伴って、現場の社員にも負担が大きくなるのしかかってくるようになってきました。

一例ですが、第3集配営業部では、これまでは夜勤課長が行っていた仕事が現場に戻されました。  
部では、日曜日の配達区の平均化を図るため、日曜日に限り、一部地域の書留は夜勤課長が配達していました。  
それが今年度に入り、現場の社員にかなりの相談もなく、書留は当該の班で配達すると周知がされました。  
理由を尋ねたところ、課長が2名になった事で、日曜日の夜勤課長の担務を課長代理が担当することが多くなる。課長代理は団地配達の方に精通していないので、書留配達には困難というものでした。

当然、配達区の見直しに伴う増員等はないので、今まで、夜勤課長が配達していた分を現場の社員が負担することとなりました。  
今回の日曜日の配達区の見直しは人事異動により課長職が減員になった事で行われた施策だと考えられますが、日曜日の出勤者の人数は変わらず、配達に出る現場の社員にだけ負担が増えるのは納得いきません。  
集配の仕事は全員が同じ仕事量とはなっていないが、極力同じ時間に仕事を終える形が理想です。その

為にもこういった施策を導入する時は現場の声を先に聞くべきです。  
今年度も引き続き指定されている「勤務時間の弾力的運用」や今回の日曜日の配達区に見直しなど、現場の声を聞かず、一方的に押し付けられる施策には、今後も追及し改善を求めたいと思います。

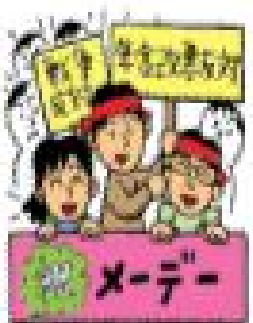


## コープユニオン

私のマイブーム  
郵便局の「風景印」と言うのをご存知ですか？  
この「未来」に目を通される方は、郵便関連の仕事をしている方が多いので知ってらっしゃる方も多いと思います。  
風景印とは、通常の消印とは別に同名と年月日そしてその土地にちなんだ図柄が描かれた消印のことです。  
全国には約2万局以上の

郵便局がありますが、その約半分の局に風景印があるそうです。  
郷土の名勝、名物。所縁のあるキャラクターなど、直径36ミリに詰められた郷土愛を感じることが出来ます。私は旅先で郵便局を見つけるとつい「風景印ありますか？」と声をかけてしまいます。そして局の方と図柄の由来を聞くのも楽しいの1つです。旅の記念や大切な方へ旅先からの便りなどにいかがですか。

## 第88回メーデーに参加しよう



5月1日は「第88回メーデー」です。  
今年もユニオンは、長崎地区労メーデーと長崎県労連メーデーに参加します。  
地区労メーデーが、9時から五島町公園で開始。県労連メーデーは、市民会館前広場で9時55分開始です。  
休み、或いは夜勤の皆さん、参加をお願いします。